

消防だより

火の用心

Totamachi Fire Department

No.80



平成 26 年 4 月 5 日

統計

平成 25 年中各種出動状況

【表紙】

第 65 回十日町雪まつり

今年は管内ご当地ゆるキャラ雪像で火災予防 PR

左：つなつぺ（津南町観光キャラクター）

中：ネージユ（十日町雪まつりキャラクター）

右：ゆとつと（松之山ゆるキャラ）

火の用心



平成 25 年中各種出動状況

平成 25 年中の火災・救助・救急・その他の出動の出場状況をお知らせします。



表内の数値は
1月1日～12月31日の数値です。

【救急出動 2,730 件】

種別	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他※1	計
市町別						
十日町市	1,324	194	375	289	105	2,287
地域別						
十日町地域	830	132	236	218	70	1,486
川西地域	200	23	58	21	17	319
中里地域	116	20	21	5	5	167
松代地域	81	17	27	38	5	168
松之山地域	97	2	33	7	8	147
津南町	224	26	67	77	31	425
管轄外※2	8	1	5	0	4	18
合計	1,556 (1,485)	221 (262)	447 (450)	366 (432)	140 (146)	2,730 (2,775)

※1その他には「火災」「自然災害」「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」「医師搬送」が含まれます。

※2管轄外の出動は長野県栄村秋山地区への出動

急病以外は件数減少
急病は年々増加傾向
救急出動件数は前年より45件少ない2,730件で、一日に平均7.5件の救急出動があることとなります。

特に、急病は年々増加傾向にあり、10年前の平成15年は約1,000件なのに対し500件以上の増加となっています。

消防だより火の用心76号(平成24年11月25日発行)で紹介したドクターヘリ運航開始から約1年が経過しました。当消防本部での平成25年1月1日～12月31日までのドクターヘリ要請件数は84件と、新潟県内で1番多く要請しています。

当管内は山間地が多く、出動から搬送先病院への収容に時間がかかるため、ドクターヘリによる医師の早期救命処置を目的に119番通報段階においてドクターヘリ出動該当キーワードに合致している際は、積極的に要請を行っていることから要請件数が多くなっています。

また要請をしたものの、天候不良や別事案対応中でドクターヘリが飛来できなかったケースもありました。



Pick Up
ドクターヘリ
要請件数県内 No. 1

【ドクターヘリ運用 84 件】

※数値については十日町地域消防本部での統計上の数値のため、新潟県ドクターヘリのホームページ上の数値とは異なる場合があります。

要請数	84
飛来数	38
飛来不可	26
キャンセル	20

要請パターン	
119 覚知要請	12
救急隊現場判断要請	8
一時病院収容	8
転院搬送	10

出動不可内訳	
天候不良	16
別事案対応中	9
日没間近	0
時間外	1

キャンセル内訳	
医師判断	10
救急隊判断	9
通信指令室	1

ドクターヘリ搬送先病院	
長岡赤十字病院	13
立川総合病院	11
十日町病院	6
新潟大学医歯学総合病院	3
県立中央病院(上越)	2
長岡中央病院	2
新発田病院	1

ランデブーポイント使用数			
つまりっ子ひろば	21	松代グラウンド	1
吉田クロスカントリー競技場	4	川西中学校グラウンド	1
十日町消防本部前	5	マウンテンパーク津南町	1
中津小学校グラウンド	3	柏崎市消防本部	1
十日町市陸上競技場	2	奴奈川小学校グラウンド	1
ナスティユウ湯の山第2駐車場	2	旧仙田小学校グラウンド	1
津南町なじよん	2		

【火災出動 25 件】

種別	建物	林野	車両	その他	計	死者	負傷者
市町別							
十日町市	14	1	2	3	20	1	5
地域別							
十日町地域	5		2	2	9	1	2
川西地域	3			1	4		
中里地域	3				3		2
松代地域	1	1			2		1
松之山地域	2				2		
津南町	4	1			5	2	
合計	18 (16)	2 (5)	2 (0)	3 (7)	25 (28)	3 (1)	5 (7)

※その他とは「建物火災」「林野火災」「車両火災」以外の火災が含まれます。

火災出動件数は前年より3件減の25件でその内建物火災が前年より2件増の18件発生し、死者は2名増の3名となりました。死者については全て65歳以上の高齢者でした。

火災件数3件減
高齢者3名犠牲に

【救助出動 36 件】

種別	交通事故	水難事故	風水害 自然災害	機械事故	捜索	その他	計
市町別							
十日町市	14			1	2	11	28
地域別							
十日町地域	9				1	8	18
川西地域	3					1	4
中里地域							
松代地域	1						1
松之山地域	1			1	1	2	5
津南町	2	1		1	1	3	8
合計	16 (22)	1 (4)	0 (3)	2 (6)	3 (4)	14 (17)	36 (56)

※その他には「交通事故」「水難事故」「風水害、自然災害」「機械事故」「捜索」以外の救助出動が含まれます。

救助出動件数は前年に比べ20件減の36件となりました。

救助出動件数
前年値より約4割減

種別を見ると交通事故が約半数を占めています。風水害・自然災害による救助出動はありませんでした。

消防署、多種多様な出動事案有り！！

消防車両は「火事」というイメージが強いですが、他にも多くの事案に出動する場合があります。当消防署では「火災」「救急」「救助」以外の出動を「自然災害出動」「偵察出動」「その他出動」と分類しており、ここではそのいくつかをご紹介します。
 ※下記のものは調査、偵察、安全管理等を目的とした出動であり、前ページ統計に該当しないものです。

風水害



水害：低気圧・台風・前線などの集中豪雨や大雨による洪水、鉄砲水、水上がり。それに伴う家屋や建物の被害。河川巡視、道路調査、被害状況調査出動。

風害：低気圧・台風・竜巻などの突風や暴風による、倒木、家屋や建物の破損・倒壊の被害状況調査出動。

雪害



雪害、大雪による家屋倒壊、建物の被害、雪が起因する水上がりなどの道路調査、被害状況調査出動。

土砂災害



土石流、がけ崩れ、地すべり、天然ダムなどの道路調査、被害状況調査出動。

その他



雷・雹・隕石の落下など、上記に分類されないもの。

自然災害出動

火報鳴動



自動火災報知設備や住宅用火災警報器の誤作動などによる出動。

怪煙



野焼き、たき火の不始末などによる危険排除出動。

油漏れ



ホームタンクや事故車両等からの油流出による危険排除出動。

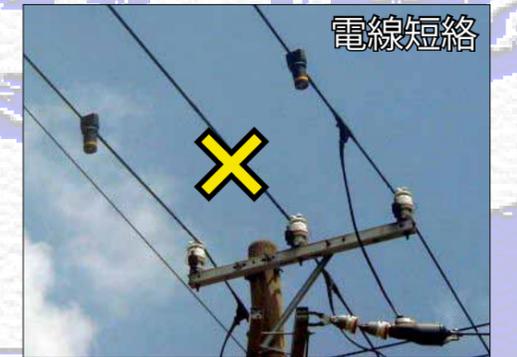
偵察出動

ガス漏れ



LPG ボンベ、配管の破裂によるガス漏れなどの危険排除出動。

電線短絡



電線の短絡による危険排除出動。

地震



揺れによるがけ崩れ・地すべり、隆起・沈降・地割れによる地形の変化、液状化現象、道路の寸断、橋や塔、建物の倒壊ライフラインの寸断などの巡視、道路調査、被害状況調査出動。

その他

交通事故など、危険因子の多い現場での安全管理出動。ドクターヘリ、防災ヘリ離着陸場の安全管理出動。

救急支援 ヘリ支援



【内訳】 ※平成 25 年 1 月 1 日～12 月 31 日

種別	自然災害出動	偵察出動	その他出動	計
市町別				
十日町市	36	51	175	262
地域別				
十日町地域	19	29	108	156
川西地域	4	7	16	27
中里地域	4	6	17	27
松代地域	8	7	26	41
松之山地域	1	2	8	11
津南町	6	10	32	48
管外	1	1	2	4
合計	43 (39)	62 (58)	209 (176)	314 (273)

林野火災

例年、春先は空気が乾燥し、風が強くなり火災が発生しやすい気象条件となります。中でも林野火災は4月から5月にかけて発生しやすくなっています。林野火災はひとたび発生すると、人命や財産、貴重な環境資源が失われてしまいます。一度焼失した環境資源は再生するまでに長い歳月を要してしまいます。

また、林野火災に該当しないものの、たき火や枯れ草焼却の拡大などを原因とする、その他の火災も多く発生しています。



過去5年間の林野火災、その他の火災発生状況



その他はたき火、枯れ草焼却の拡大などが原因の火災

小雪の年は林野火災 その他の火災が多い!?

小雪だった平成21年は、林野火災やその他の火災が多発しました(右グラフ参照)。早くは3月初旬に林野火災が発生し、なかでも4月9日には、1日に6件もの林野とその他の火災の発生がありました。今冬は例年と比べ小雪だった地域もあり雪解けの時期が早くなる見込みで、早期から林野やその他の火災に対する予防が必要となります。

女性消防団員ラッパ吹奏訓練中

十日町市消防団にはラッパ隊員が24名在籍し、消防演習や出初式において、ラッパ吹奏をしています。現在、男性消防団員のみがラッパ隊員として活動していますが、「私たちにできるのでは」と女性消防団員が訓練を始めています。今回、訓練に参加していた3名の女性消防団員から話を聞きました。



なぜ女性消防団員がラッパを?

女性部が発足して数年が経ち、予防活動などの活動をしていいますが、「もっと女性部でできることはないか?」と考えたとき、ラッパ吹奏ができるのではないかと考えたことが始まりです。

訓練はどのようにしていますか?

現役の男性ラッパ隊員などに指導してもらいながら、平成25年の3月から月1回訓練をしましたが、26年3月からは月2回に増やしています。

実際にやってみてどうですか?

「見た」と「やった」とでは大違いでした。音を出すことすら難しく、訓練が終わると口の周



左：村山加保里さん 中：大平友子さん 右：高野芳子さん

りが筋肉痛になってしまつたので、訓練日以外でもマウスピースを吹いて鍛えています。目標は? 平成27年の出初式にラッパ吹奏するのが当面の目標で、最終的には消防演習でのラッパ吹奏ができればと思っています。

出火原因のほとんどは 失火によるもの!!

出火原因は、たき火、火入れなど火気の取り扱いの不注意・不始末によるものや、山菜採りやドライブ中のたばこの投げ捨てによるものなど失火によるものがほとんどです。みなさん一人ひとりが次の点に注意することで未然に防ぐことができます。

- ① 枯れ草などのある場所では、火気を使わない
- ② 強風時や乾燥時には、たき火、火入れをしない
- ③ たき火、火入れの場所を離れるときは完全に消火する
- ④ たばこの火は必ず消し、投げ捨ては絶対にしない
- ⑤ 事前に水バケツなどを用意する

野焼きは禁止されています

適法な焼却施設以外で廃棄物(ごみ)を燃やす「野焼き」は悪臭や大気汚染の原因になるとともに、煙などが周辺の方々に大変な迷惑となるため、原則として禁止されています。



十日町市八箇地内林野火災の様子

林野火災が発生... 見つけたら...

林野火災が拡大してしまつたり、発見した際は、速やかに119番通報をお願いします。林野火災は住宅から離れた場所が発生することが多く、場所の特定に時間がかかることがあります。慌てずに通信指令員の質問に答えてください。

また、昼間は炎が見えにくく、自分に炎が迫っていることが分からず、四方を炎に囲まれて逃げ道を失うなど、やけどや命を落とすことがあります。一人で消火しようとせず、安全なところまで避難しましょう。

お知らせ

行事予定

各種行事

- ◆春の火災予防運動
4月1日(火)~7日(月)
統一標語
「消すまでは 心の警報 ONのまま」
- ◆山火事予防運動
5月1日(木)~7日(水)
統一標語
「守りたい 森の輝き 防火の心」

各種講習会の予定

- ◆甲種防火管理者講習会
【再講習】 6月6日(金)
会場：十日町地域消防本部
申込期間：5月1日~31日
- 【新規講習】 7月3日(木)~4日(金)
会場：クロス10
申込期間：6月2日~30日
- ◆危険物取扱者試験準備講習会
【乙種4類】 7月8日(火)~9日(水)
会場：クロス10
申込期間：6月6日~30日
- ◆危険物保安講習
7月17日(木)
会場：クロス10
申込期間：6月12日~26日

お詫び

前号(No.79号)5ページに掲載した平成24年中、消防団出動状況の表が、わかりにくい表現となっております。十日町市消防団の出動回数は十日町方面隊、川西方面隊、中里方面隊、松代方面隊、松之山方面隊の5方面隊の出動回数を合算した回数を計上している旨の説明を付ける必要があります。改めまして再掲いたします。

平成24年中消防団出動状況

	十日町市消防団	津南町消防団	計
火災	15回	3回	18回
救助	2回	0回	2回
捜索	6回	0回	6回
風水害等	2回	0回	2回
演習・訓練	173回	25回	198回
特別警戒	109回	23回	132回
その他	22回	0回	22回

十日町市消防団は十日町・川西・中里・松代・松之山各方面隊の合算値

表彰

人命救助の功績を称え
2人に感謝状を贈呈

十日町地域広域事務組合は2月24日、人命救助、応急手当に協力した、津南町外丸の福原正さん（61歳）と津端広輝さん（64歳）に感謝状を贈呈しました。2人は1月11日早朝、側溝に転落した70歳代の女性を発見、救助し適切な応急手当などを行った功績を称えたものです。

福原さんは、同日6時半頃、外から「助けてください」と助けを求める声を聞き、隣人の津端さんに協力を求め2人で辺りを見まわしたところ、側溝脇に傘があるのを発見。傘のあった場所から約10メートル下流の雪止柵まで流されていた女性を発見。女性を引き上げた後、福原さん宅で濡れていた衣類を着替えさせるほか、体が冷え切っていたため毛布による保温を行い、救急隊到着まで女性を勇気づけたものです。

女性は、前夜からの降雪で、側溝が雪で覆われていたため、誤って転落、30分ほど水にさらされていました。



津端さん（左）福原さん（中）齊藤消防長（右）

齊藤消防長は「このような場面では気が動転してなかなか行動ができないが、平日頃から地域の支えや絆があったからこそ救えたもの。」と感謝の意を述べました。

福原さんは「声を聞いた時とはにかく助けなければと思いつつ津端さんに大声で協力を求めた。8年間の介護福祉士の経験が生きた。女性が助かってよかった。」津端さんは「雪止柵があつてよかった。なければ側溝の下流は見つけられなかったかもしれない。無事でよかった。」と語りました。

救急講習

観光客に安心安全を!!
松之山温泉組合救急講習



温泉組合一丸となつての救急講習当日の様子

松之山温泉組合（野本旅館、野本淳一組合長）は3月11日（火）救急講習会を開催しました。

この講習は、松之山温泉を訪れる観光客に安心・安全な旅行を楽しんでほしいとの思いから、温泉街で働く従業員を中心に、消防署しづみ分署、十日町市消防団松之山方面隊の協力により開催し、19名が受講しました。

野本組合長は「迅速な応急処置と適切な救急車への引き継ぎを再確認しました。これからも定期的に訓練を開催したい。」と熱く語りました。

赤色灯

4年間、広報担当として消防だより火の用心の制作に携わってきましたが、今号が担当として最後の制作となりました。

振り返ってみると、初めは何をどうすればいいのかわからない：PCソフトの操作もできない：しばらくの間、前任者におんぶに抱っこ状態が続いていた気がします：

「文字は少なく、写真は多く」をコンセプトとして制作してきましたが、なかなか文章が短くならないんです：しかも消防は専門用語が多くて、自分が当たり前のように使っている用語が一般の人には伝わらない用語であったりと1行の文章を作るのも数十分考え込んでしまうことがありました。よく考えると、子どもの頃から読書といってもマンガしか読んでなく文才がないからしょうがないと後悔しても後の祭りでした：

今から約20年前に産声を上げ、今号で80号を迎えた「火の用心」。次号からは新しい顔ぶれで制作にあたります。これからも「消防だより火の用心」をよろしくお願いします。（ゴバ）

消防だより
火の用心



発行 十日町地域消防本部 〒948-0036 新潟県十日町市北新田一番地10
編集 総務課庶務広係 電話 025(757)0119 FAX 025(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-kouiki.jp/ 山メール tfo119@tokamachi-kouiki.jp